



〒 915-0823
 福井県武生市本町 10-2
大寶寺
 TEL/FAX (0778) 22-1682

住職 挨拶

法譽 孝導



昨年秋以来、二度にわたり脳梗塞に襲われ、京都の

第一日赤病院から武生の中村病院に移りリハビリに鋭意つとめています。春の暖かさが増せば回復が捗ると期待しています。檀信徒のみなさまには大変ご迷惑をおかけし深くお詫び申し上げます。また、お見舞ならびにご激励を頂き厚く御礼申しあげます。

このため総本山知恩院の重責を続けることができなくなりましたので、このたび辞任させていただきます。

頂くことになりました。皆様のご期待にそえず任なかばで辞めますこと、まことに残念でございますが、温かいご後援のおかげで今日まで栄えある勤めに就かせて頂き心から感謝申しあげます。まことに有難うございました。

御忌会にはぜひお詣り頂きお目にかかってご挨拶と御礼申し上げます。ぜひとも御忌会にお詣りいただきますようお願い申し上げます。

大寶寺 御忌法要日程

○ 三月五日 (土)
 午後二時 開白法要
 // 三時 説教

○ 三月六日 (日)
 午前十時 日中法要
 // 十一時 説教
 昼食 終了

布教師 滋賀県八日市
 弘誓寺
 加藤善也上人

御忌(ぎよき)会とは?

法然上人のご命日に、その恩徳をしのんで営まれる法会が御忌会です。法然上人は建暦二年(1212)、一月二十五日、御歳八十、京都・東山の吉水、現在の総本山知恩院の地で逝去されました。しかし、一月下旬といえば厳寒の時期であるので、時期をずらして御忌会を営むことになりました。ちなみに知恩院では四月十八日から二十五日まで盛大に御忌会が営まれます。

もつもの「御忌」という言葉は、天皇や皇后の忌日法会に勤められる法要の敬称のことでしたが、大永四年、後柏原天皇が知恩院第二十五世超誉存牛上人に「知恩院は浄土宗の根本道場であり、宗祖入滅の靈跡であるから、毎年七日間、ここで御忌を勤めよ」という「大永の御忌鳳詔」を出して以来、法然上人の忌日法要を特に「御忌」と呼ぶようになりました。

法然上人のご生涯は、み仏の限りない慈悲の光のなかに生かされ、限りない生命の歓びをかみしめるために、ひたすら「南無阿弥陀仏」を称えよ、とわたしたちにお勧めくださったことにつきます。そしてそのおらかなお念仏のみ教えは、今、わたしたちに、生きる勇氣と歓びを与えてくれます。

ぜひとも、大宝寺また知恩院の御忌会に参詣され、大いに上人のご遺徳をしのび、報恩と感謝のお念仏を称えましょう。

<http://www.jodo.or.jp/naruhodo/event/index17.html>より



雪景色の桜も格別です。

佛名会

十二月十八(土)十九日(日)

当山にて佛名会(ぶつみようえ)が営まれました。十九日には昼、浄焚会をいとなみ不要になった仏具や位牌などをお焚き上げしました。

除夜の鐘

十二月三十一日

地球を救う？

最近「地球を救う」ということばをよく耳にします。私はこのことばに違和感を感じます。

先日、ある番組で世界の自然破壊の現状をクイズ番組で取り扱っていました。「では、いったいどうしたら地球を救えるのでしょうか。」漫才師でもある司会者の発声のテンションの高さと質問の深刻さのギャップに私は嫌悪感すら感じました。

そもそも、地球の環境を破壊をしている当事者も、また、地球の環境が破壊されて困るのも人類なのですから、救われべきなのは地球ではなくて、人類そのもののはずです。

自らのために自らを律するべきところを、まるで、他者のために何かをしてやるかのようにするのは、お門違いもはな

大晦日の夜、みぞれまじりの強風の中除夜の鐘をついて、国内外に災いの多かった平成十六年の申年にお別れをしました。寒さのため例年よりは参詣の方が少



写真は今年五十回目の除夜の鐘をついている織田さんです。

はだしいといわざるをえません。

「地球にやさしい」、「地球がかわいそう」、「地球が泣いている」などのいまわしは、感性の豊かさを装ってはいますが、地球を単なる物の集りとしてとらえ、それを利用することを当たり前のように思っている現代人の傲慢さやご都合主義を覆い隠す隠れ蓑ではないでしょうか。

私たちの祖先は地球に対しもっと敬度で謙虚な気持ちを抱いていました。もちろん、地球という概念は比較的最近になって意識されるようになったと思われまますから、昔の人にとっての地球とは大地を意味していたと思われま

す。祖先にとって大地は神仏の宿るところ、あるいは、神仏そのものでした。ちなみに大日如来は太陽のことです。また、現在でも地の神様を祭る行事が

なかつたようです。

年始のご挨拶

一月一日〜三日

一日は主に武生市内の、また、二日と三日には各村の檀信徒の方々が年頭のご挨拶に寺にお見えになりました。

年頭回礼

一月四日

住職入院のため副住職と

各地に残っています。

地球は仏さまであり、そのおかげで人間は生きていけるのです。人間ごときが仏さまである地球を救うなどという傲慢な考えは祖先の脳裏すらかすめなかつたらうと思われまます。

「地球を救う」などという思いあがりには、結局のところ、人類の滅亡に結びつくかもしれません。もつとも、環境破壊から「地球を救う」ことだけが目的であるというのであれば、破壊の元凶である人間が滅亡することが最も効果的な解決法であることに間違いはないのですが・・・



悦應

長男が寺からおもに武生、鯖江のお檀家に年頭のご挨拶にうかがいました。今年もどうぞよろしくお願ひします。



お年始にお見えになった皆さんです。 H15. 1. 2

太子堂お火待ち

一月九日

本町の隣の平和町にある聖徳太子ゆかりの太子堂で、お火待ちの法要がとり行われました。太子堂でのお勤めの後、町内の皆さんが持ち寄った正月の飾りをご供養の上、お焚きあげしました。

池の鯉も寒そうです。 H15. 1. 2



